

会報HP化への流れ

会報のHP化に関する 郵送会員のご意見

会報のホームページ化（以降、HP）については、柴田代表幹事就任以降の、HPの機能拡充の取り組みに平行して検討が進められたものです。

以前、会報は、ワープロソフトで製作され、印刷して会員全員に郵送配布されてきました。その主要な内容は、「湖海の土」「愛知県技術士会主催イベント案内」「中部技術士会等関連団体主催イベント案内」などが主要な内容でした。

インターネット利用の一般化のなかで、個別郵送のコストの大きさが問題になり、数年前より、インターネットアドレスをお持ちの会員を対象に会報の郵送からメール配信への切り替えが行われました。

しかしながら、年六回の配布であり、イベント案内については、即時性に欠けるくらいがありました。また、メールの場合は会報データの容量の許容範囲が受け手によって異なり、写真や図表を用いた会報を全員に送付することは事実上、困難でした。

そこで、HPへの掲載を前提に、よりデジタルで分かりやすい会報配布を目的に、会報タイトルやレイアウトのリニューアル、写真の多用を実施しました。

HPへの掲載を前提とすれば、カラー写真の添付も問題なく、必要に応じてダウンロードすることによ

て、ペーパーベースでの保管も可能になりました。

そこで、昨年度より、メール配信を廃止し、HPへの掲載に切り替えて会員みなさんの反応を確認するとともに、これまで郵送を行ってきた会員の皆さん（以降、郵送会員）へは継続的に郵送配布を行うとともに、今後、郵送会員への対応をどうするかについて、継続的に検討することになりました。

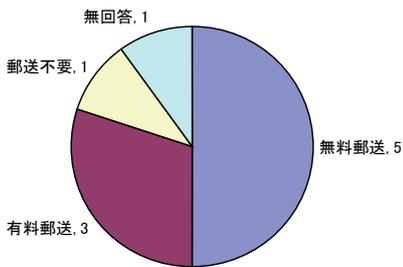
検討結果については、次回の会報に掲載します。本号では、検討の過程で実施した、郵送会員の皆さんへのアンケートの結果を報告します。

アンケートは、平成一八年現在、会報の郵送を行っている会員を対象に実施しました。この段階で、一八名の郵送会員があり、内、回答があったのは一〇名でした。

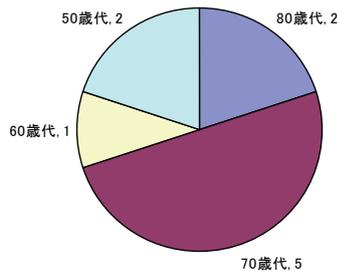
年齢構成は七〇歳以上の方が七名、六〇歳代が一名、五〇歳代が一名でした。平均年齢は七〇・九歳で、高齢者が多いことが分かります。

この中で、インターネット接続のパソコンを所有している方が四名、今後、所有する意向のある方が二名でした。つまり、HPによる会報をまったく閲覧できない方は四名です。

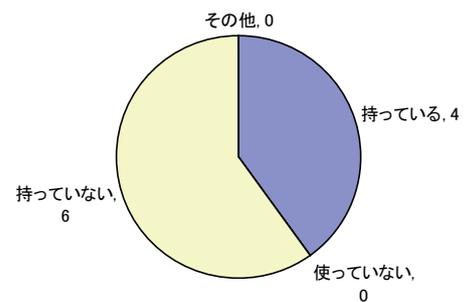
一方、今後の送付については、無料配布希望が五名、有料配布でもよいとする方が三名、これからは郵送不要という方が一名おられました。なお、自由記述の内容として「愛知県技術士会の会費には、郵送費用



今後の対応



郵送会員の年齢



インターネットパソコンの所有と活用

が含まれていると考えていたので、郵送は当然と考えていた」というご意見もありました。

アンケートは以上の三項目の他に、技術士会事業への参加頻度等の設問がありました。個々では省きます。アンケート結果からは、郵送会員の大半が高齢者であり、実際にインターネットを利用できない環境にある方はきわめて少数であるということが分かります。

また、アンケート実施の過程で、今後は郵送不要という意思表示をされた方もお見えでした。

結果として、会報のHP化による会員サービス上の問題は、HP化によるメリットと比較して、十分に大きいものであり、HP化は推進すべきであると、HP担当および会報担当幹事は考えました。

反面、少数であるにせよ、会報のHP化によって不利益をこうむる会員がいる以上、これらの会員の方への配慮も十分にすべきであるとも考えました。

このアンケートの実施後、HPの充実と会報のHP化を推進するため、HPの企画・運営に携わる担当幹事を二名増員し、四名とすること。これらの担当幹事で委員会を構成し、HPの充実（会報のHP化を含む）について、より具体的な検討を行うことが決まりました。

次号では、平成一九年一月の幹事会で行われた検討結果を報告いたします。